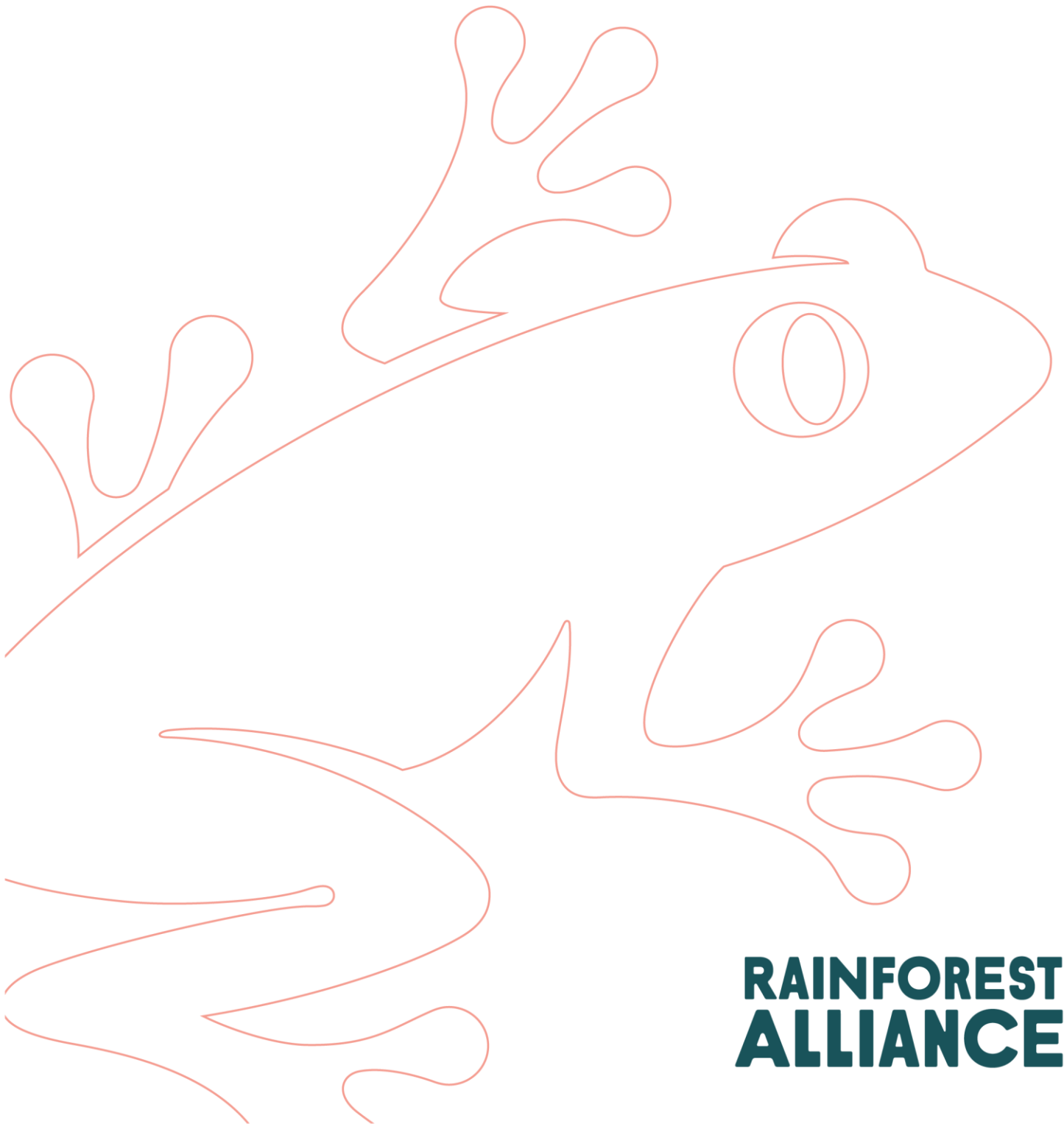


付属文書 S12

非転換要件の追加詳細

第 1.1 版



**RAINFOREST
ALLIANCE**



翻訳免責事項

翻訳に含まれる情報の厳密な意味について質問がある場合は、公式の英語版を参照してください。翻訳における不一致や差異には拘束力がなく、審査や認証には一切影響しません。

詳細について

レインフォレスト・アライアンスの詳細については、www.rainforest-alliance.orgにアクセスするか、info@ra.orgにお問い合わせください

文書名		文書コード	版
付属文書 S12 非転換要件の追加詳細		SA-S-SD-13-V1.1	1.1
発行日	改訂日	拘束力を持つ日	失効日
2020年6月30日	2021年1月31日	2021年7月1日	別途通知があるまでの間
開発者：		承認者	
レインフォレスト・アライアンス基準と保証部		サプライチェーン最高責任者	
リンク先（該当する場合、資料の番号と名前）			
SA-S-SD-1-V1 レインフォレスト・アライアンス 2020 持続可能な農業基準、農場要件			
置き換え			
SA-S-SD-13-V1.1 付属文書 12 非転換要件の追加詳細			
該当者			
認証保有農場			
国/地域コード			
すべて			
農作物		認証のタイプ	
レインフォレスト・アライアンス認証システムの範囲内のすべての農作物。認証規則を参照してください。		認証保有農場	

レインフォレスト・アライアンスの書面による事前承諾なしに、複製、変更、配布、再発行を含む本資料のいかなる使用も固く禁じられています。



付属文書の目的

本付属文書は、認証農場が自然林やその他の自然生態系を、農業生産やその他の土地利用に転換しないと定めている要件 6.1.1 に関する、追加の詳細情報が記載されています。

主要要件 6.1.1

2014年1月1日以降、自然林やその他の自然生態系が、農業生産やその他の土地利用に転換されていないものとします。

要件の説明

要件 6.1.1 の目的は、認証農場での農業生産やその他の活動が、自然林や生態系の破壊を引き起こさないようにすることです。湿地や泥炭地を含む自然林や生態系の保護は、気候変動の影響を緩和し、農家や森林コミュニティの生活を守るために不可欠です。

森林破壊や転換を行わないという基準の厳格な要件を維持するために、基準日（2014年1月1日）が例外なく定められています。この日付以降に発生した、いかなる森林伐採または（土地利用の）転換は、通常、特定地域または生産単位がレインフォレスト・アライアンス基準に準拠していないものとし、認証の取消しの原因となります。ただし、生産者が変化する（気候変動を含む）条件に適応できるよう、インフラストラクチャの管理や下記に詳述するような改善可能な軽微な場合など、ある程度の柔軟性が設けられています。

土地利用の転換の定義

転換とは、異なる土地利用を伴う自然生態系の改変、自然生態系の種の構成、構造、機能を大きく変えることを指します。これには、自然生態系がプランテーション、農地、牧草地、貯水池、インフラストラクチャ、鉱業、都市部に転換されることが含まれます。森林破壊は、転換（自然林の転換）の形態の一つです。転換には、生態系における既存の種の構成、構造、または機能について、実質的かつ持続的な変化をもたらす深刻な劣化または管理業務方法を導入することも含まれます。この定義に当てはまる自然生態系の変化は、合法であるか否かにかかわらず、転換とみなされます。

転換の特定

自然生態系の最近の転換に関する審査に支援を提供するために、レインフォレスト・アライアンスの危険分布図は、位置情報データが提供された特定の農場で遠隔計測による転換の証拠があるかどうかの概要を示します。危険分布図は、2014年まで存在した森林を示す基準となる層とそれ以降の樹木被覆喪失の証拠を重ね合わせた地理空間位置情報によって作成されます。その結果、2014年以降に森林破壊が発生した農場と、現在の位置情報データにより将来森林破壊が発生する可能性のある農場の危険度が示されます。レインフォレスト・アライアンスは、保護区域の最新の地図と農場の位置情報を重ね合わせるにより、保護区域への侵入危険度を監視するための地図を作成します。レインフォレスト・アライアンスの危険分布図は、位置情報データが更新されるたびに更新されます。危険分布図は、認証プラットフォーム上で認証保有者が利用できるようになっています。

農場や団体管理者は、レインフォレスト・アライアンスの危険分布図の結果を活用して、遵守違反の危険度が特に高い地域および生産者を特定、リスク査定を実施し、適切に管理するための手段を講じる必要があります。



位置情報データでは、転換された土地と、以下に挙げられているような他の形態の正当な土地利用のために変更された土地を必ずしも区別できるとは限らないことに留意する必要があります。

- 自然生態系の転換を伴わない、収穫され農業用に転換された森林プランテーション
- 自然林の転換を伴わない日陰樹の収穫
- 2014年1月1日以前に発生した樹木被覆喪失

農場や団体管理者は、最も適切な管理対応策を策定するために、特定されたリスクを精査する必要があります。

軽微な転換

大規模農場（グループの一員として認証された農場を含む）および単一農場における、2014年1月1日以降に発生した森林の転換、他の自然生態系について農業生産またはその他の土地利用のために実施された転換は、農地の1%または10ヘクタール（いずれか小さい方）を超えてはいけません。このしきい値以下で転換が行われた場合、農場責任者は生態学者の協力を得て、転換が行われた森林や生態系をどのように修復するかを示す修復/補償計画を策定しなければなりません。計画に含まれるべき修復条件は以下の通りです。

- **比例的**：修復される領域は、転換された領域と少なくとも同じ大きさでなければならない。この条件は、転換された土地での生産活動を打ち切り修復するか、近隣地域を修復して代償的な保全効果をもたらすことで満たすことができる。
- **同等**：修復される生態系は、損失した自然生態系と生態学的価値が同等でなければならない。修復された土地の価値が転換された土地の価値よりも低い、または低くなる場合は、より大きな領域を修復する必要がある。
- **追加**：修復活動は、自然植生に関するレインフォレスト・アライアンスの要求事項への準拠など、他の理由で計画された活動に追加する形で実施されなければならない。
- **永続的**：修復活動は、資金調達、管理責任、明確な土地指定、土地の権利など、長期的な実行可能性を保証する方法で設計されなければならない。

この計画には、中間の期限付き目標、作業内容の明確な責任、および少なくとも3年に1回の監視計画が含まなければなりません。

生産者団体認証の場合、通常、森林破壊が起きた農場を持つ団体構成員は、団体から除外されなければなりません。非準拠（大規模・小規模）農場が全体の5%以上、または少なくとも10ヘクタールを占める場合、その団体は認証されません。ただし、非準拠の団体構成員の割合が団体全体の1%未満の場合、団体は回復および森林破壊の進行を阻止すべく対策措置を実施することが可能です。対策措置には下記の内容が含まれます。

- さらなる森林破壊を防ぐため、団体構成員に対する制裁システムの確立
- 団体構成員に対する、意識向上策または研修の実施
- 転換された面積の少なくとも3倍の面積を置き換えることで、以前の保全価値の喪失を緩和するというアグロフォレストリー計画の策定と実施。この計画には、6年



以内にアグロフォレストリーの目標を達成することを目標に、中間の期限付き目標、作業内容の明確な責任、および少なくとも3年に1回の監視計画が含まれます。また、この計画は農場管理計画に含まれます。

- 森林破壊や保護区域への侵入リスクが中程度、もしくは高い生産者全員が農場単位でポリゴンを収集する計画

保護区域または正式に指定された緩衝地帯においては、いかなる転換も行ってはならない（適用法で認められている場合を除く）。また、基準や適用法の要件に違反する場所や手法で転換を行ってはならない。

インフラストラクチャ管理の軽微な転換例外

農場または加工業務に不可欠なインフラストラクチャを維持または拡張するために、認証された総面積の最大1%の自然生態系の転換は、以下の条件で許可されます。

- i. 転換は、新しい農場インフラを設置する、または既存の農場インフラ（例えば、ポンプ施設、水路、池、貯水池、ダム、人口湖を含む道路または灌漑インフラ）、恒久的に設置された機械、洗浄、処理、梱包用の設備を修理する理由でのみ、行うことができる。
- ii. 農場または団体責任者は、提案されたインフラストラクチャの設置または修理が、関連する領域を転換せずに実施できないかの理由を含め、設置計画を事前に文書で作成する。
- iii. 認証された土地全体と転換された土地のポリゴンを収集し、これから転換される土地の面積が、認証された土地全体の1%という許容されたしきい値以下であることを証明する。注：1%のしきい値は、認証の最初の申請日からの累積合計許容面積である。
- iv. 転換は、完全に要件 6.1.2 に準拠しているため、適用法に準拠している場合を除き、保護区域または正式に指定された緩衝地帯において、生産または加工が行われないこと。
- v. 転換は、適用法に完全に準拠している。
- vi. 転換は、圃場/施設またはエリアの HCV 評価に含まれる高保全価値に関する指定、または推奨事項と一致している必要がある。